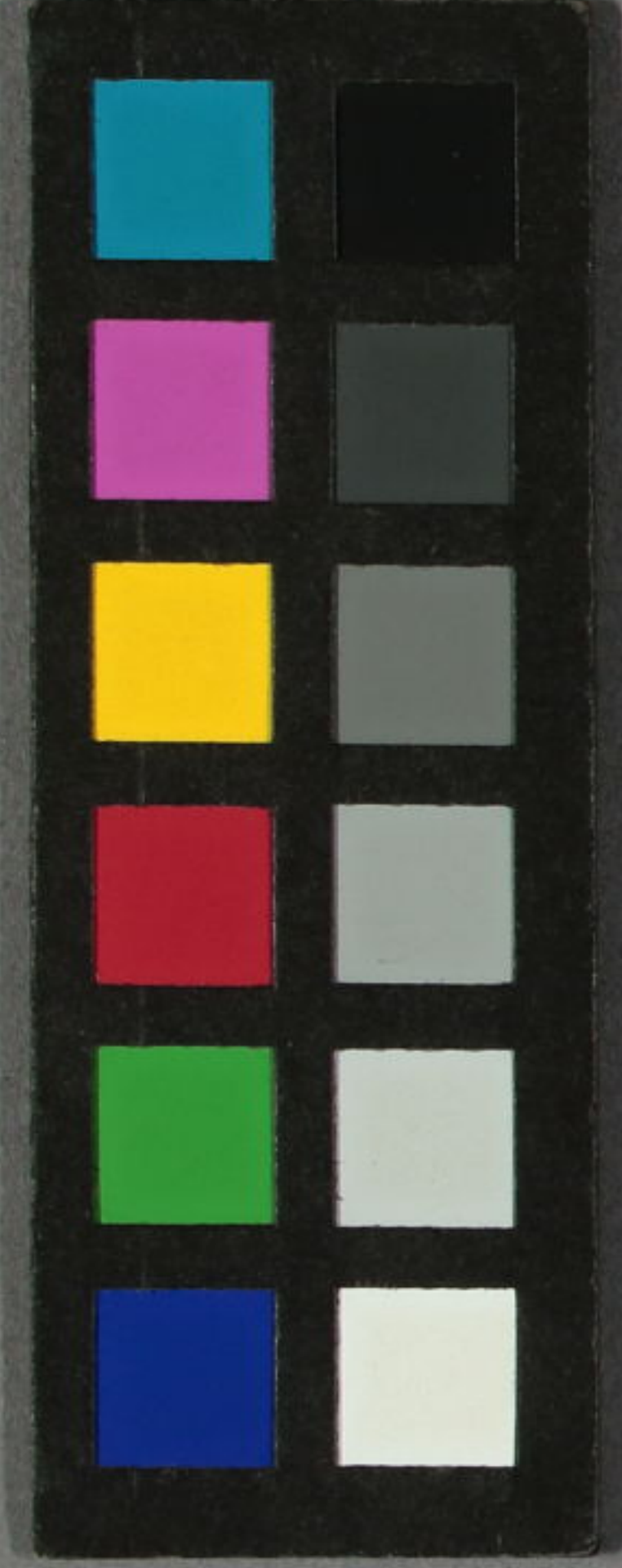


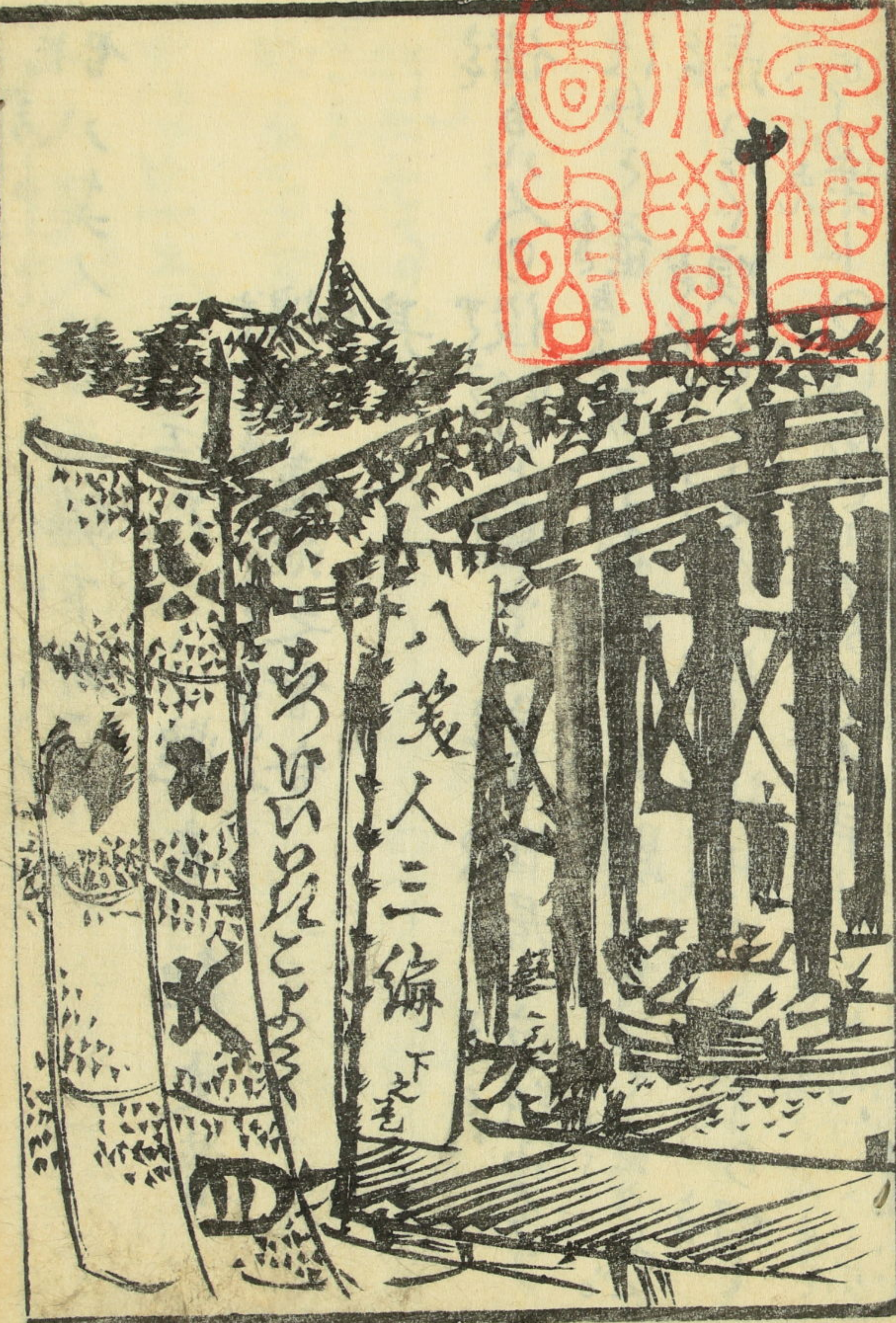
花
八
笑
人
三
編
村
田
下

13
3209
5



利田

利田
利田
利田
利田
利田
利田
利田
利田
利田
利田



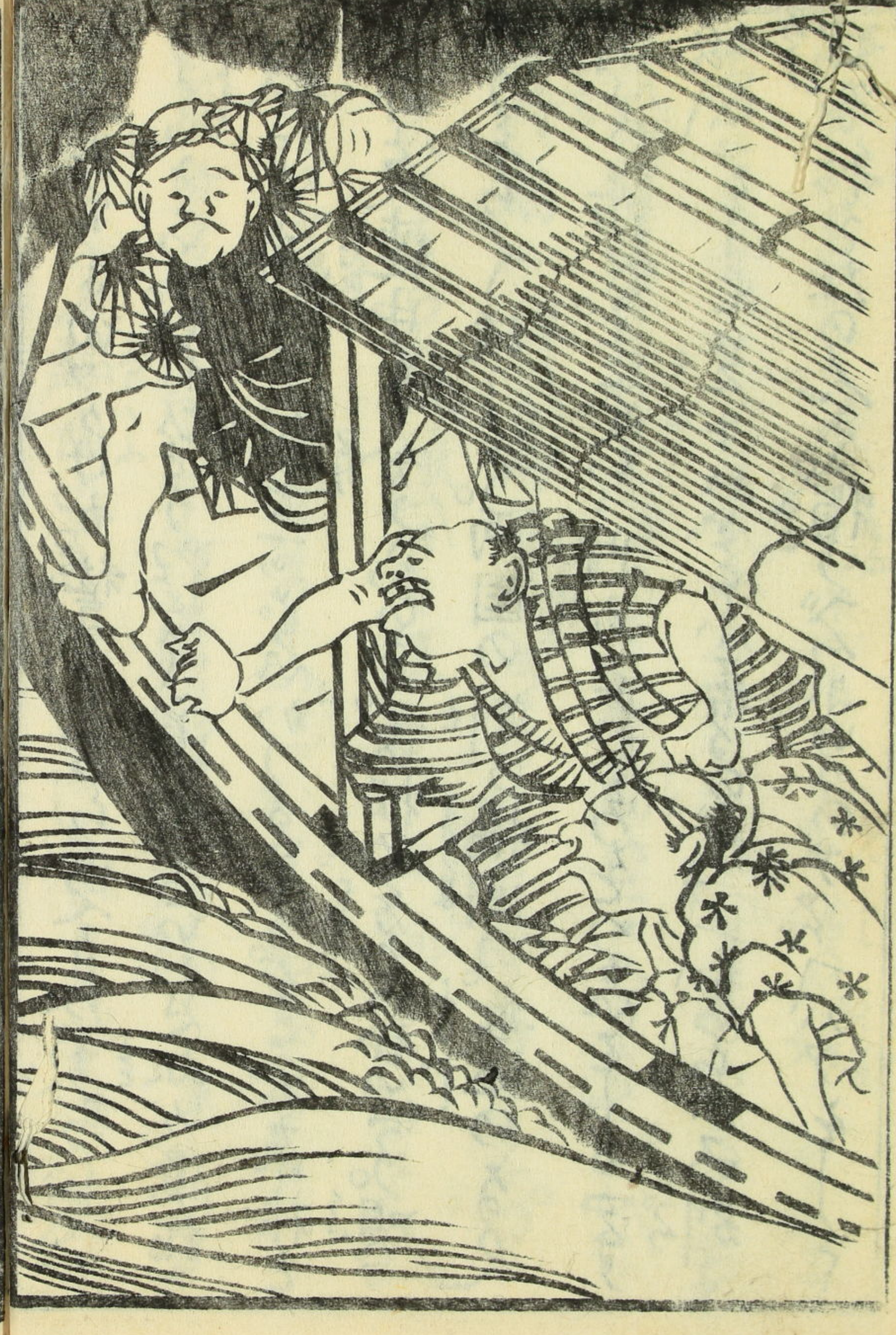
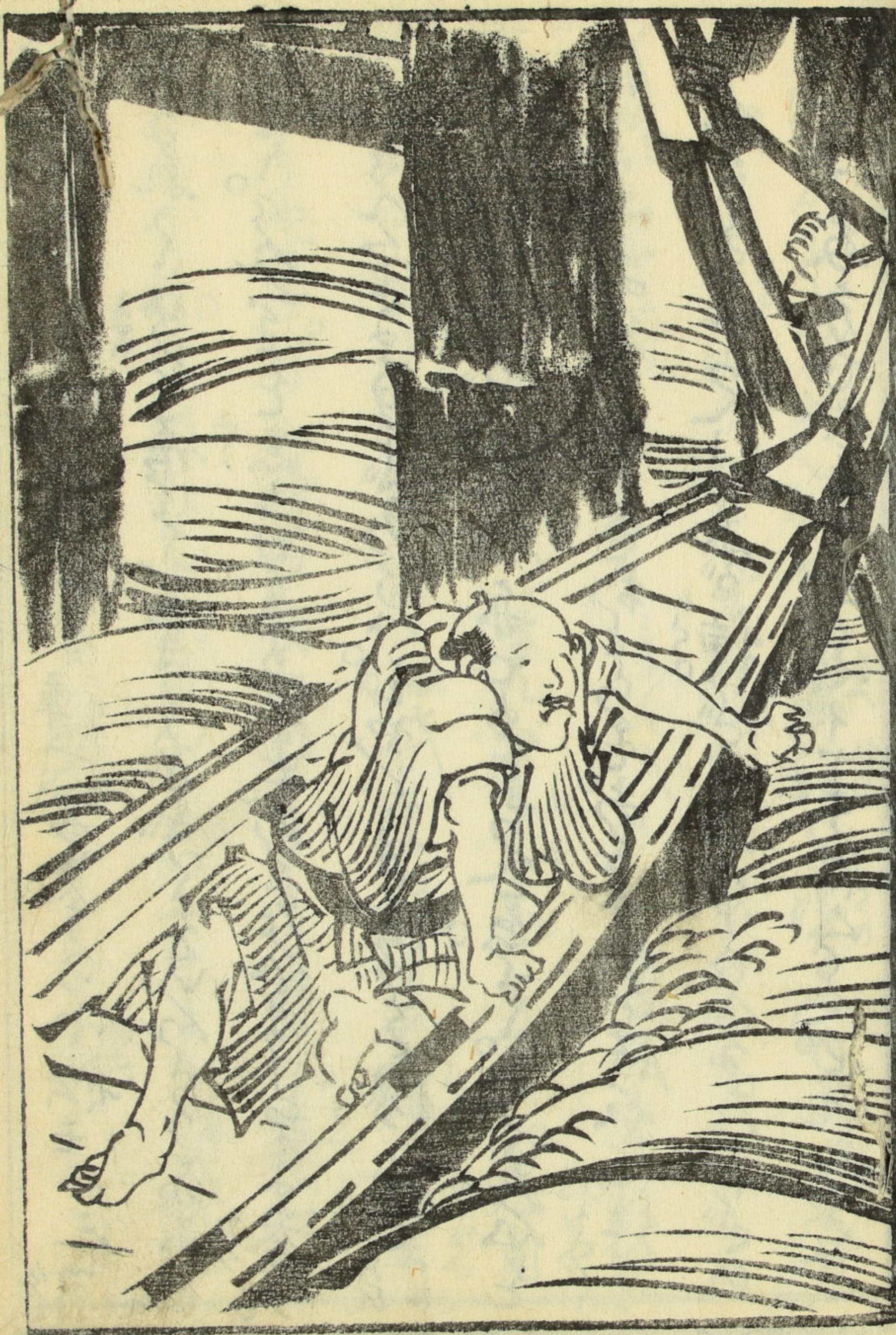
八
笑
人
三
編
下
卷

大
文
庫

門 八 13
號 3209
卷 5

せうつをうのよるみよけと。拙ヒラ他カうカ他カうカ。玉タマ極キョク
 ぐくろうの世界セカイツツのノ一イチたタぐグ〜まマいイつツけケたらラぬヌ
 のうノウかカんンよヨ息イキ知チもモらラぬヌどド香カウヒヒイイヤヤまマのノまマどドんンどド
 ぬヌせセ夾カウのノやヤうウゆユあアくクぢチらラてテらラもモぬヌるル。今イマ度ドハハあアりリ
 かカりリのノゆユけケてテ入イれレぬヌどドちチんンよヨ。乗ノリススあアらラうウさサらラ〜
 中ナカのノ隨ツらラ出デ来キらラ〜
 かんカンぢチんンのノおオもモどドぢチらラ〜
 かカらラぢチんンとトいイふフとトあアくクぢチらラ〜
 ぢチもモ糞クソ桶バケのノ荷カ徂レぢチやヤぬヌがガ大オホ丈シヤウまマふフ〜
 ぬヌとト始ハジ末マツのノまマいイるルがガ出デ来キるルチチのノちチぢチぢチぬヌ〜。

ぬヌとト始ハジ末マツのノまマいイるルがガ出デ来キるルチチのノちチぢチぢチぬヌ〜。
 乗ノリススママ乗ノリるルゆユつツらラ〜
 ちチんンよヨのノ親オヤぢチ〜
 のノ上ウハハあアをヲ〜
 るルのノをヲ〜
 ヤヤ糞クソ桶バケだダのノ〜
 ぢチむムせセなナ〜
 ぢチんンのノ〜
 ぢチんンのノ〜

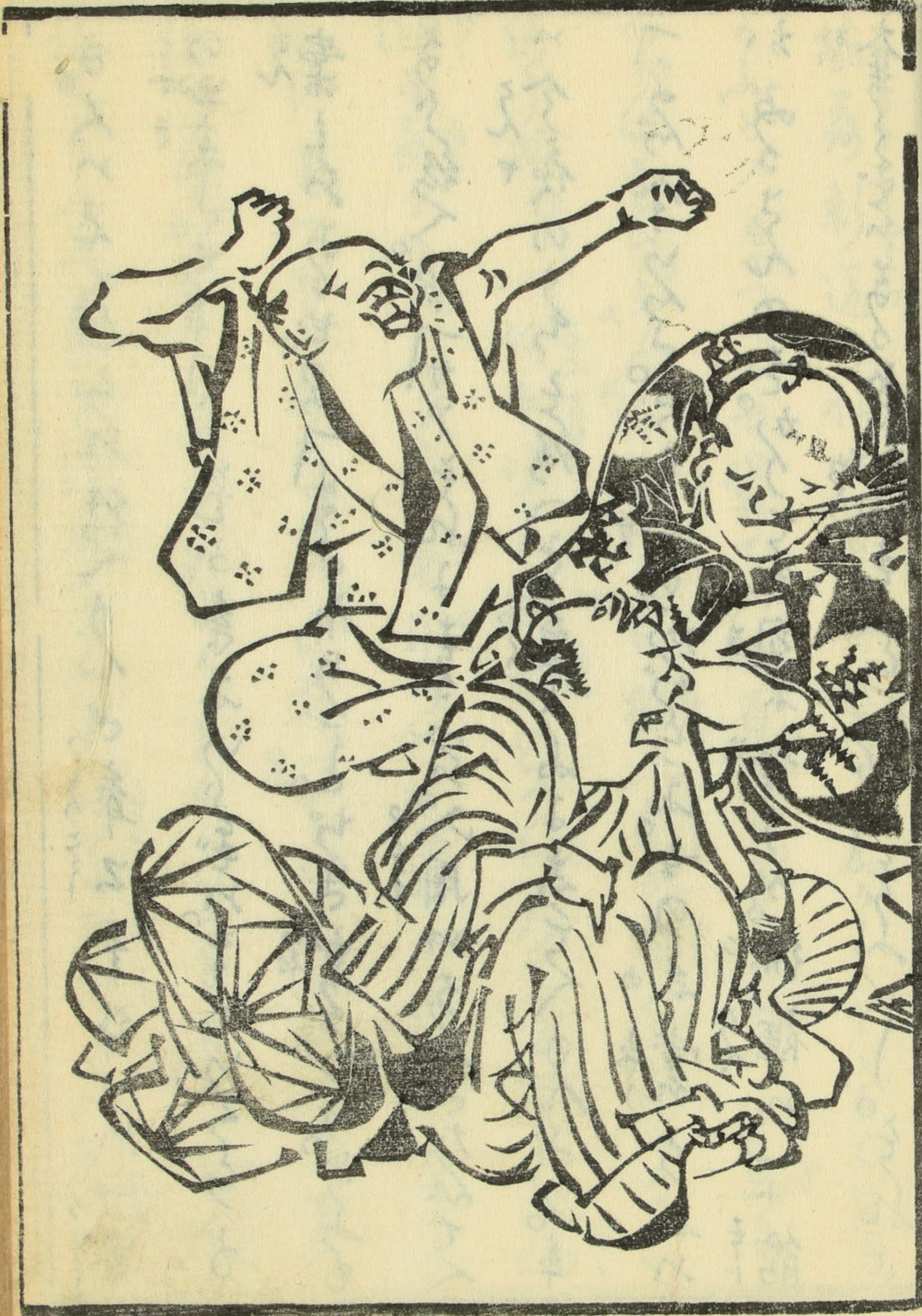


登トへトくト乗トりトよト事トをかトひトよトふト。ト船トまで
持トだトまト祓トのトりトもト。あトるトあトいトびトねトりト。膝ト七ト。しトらトよトはトげトん
あトらト麻トをトいトくト替トへト。まトつトこト。かトみトまトいトらト。火トをト組トこトで
あトげトよトふト煮ト。あトまトつトさトくトをトさトりトらト。あトつトこトんトあ
ふトんトりト。あトいトのトヨト事ト。しトらトびトくトふト。兼ト煮トりト。しトらトあトん
まトつトぢトびトせトんトびトねトりト。事ト。しトヨトット。まトつトこトんトらト。しトらトびトねトをト。
なトしトまトいトらトるトあトんト。あトいトへト。餘ト不トおトをトなトまトもトりトがト。こトウ
扱トりト。あトまトいトふト。中ト漬トよトかトつトてトめトいトらト。じトらトもト賣ト茶ト。
あい
あん
よ
よ
あ
あ
あ

屋ヤのトえトせトをトとトるトよトふト。前ト並ト斗トりトまトらトをトてトかんトぶトんトの
船ト向トがトまトいトへトいトらト。安トらトまトいトねトりト。事ト。しトらトんトあトんト。是トらトいト
まトつトとトまトふトらトるト。あトらトがトどトくトふト。助トどトまトいトへトアト。みトらトあトんトの
あトれトがト。出トそトふトらトんトのトんトどト。サトリト。其トのト筋トをトまトいトくトせトらトうト
まトつト。事ト。しトらトびトねトらトいトあトれトがト。めトちトあトいトのトかトらトだト。ヤト。がト。ハトア
是トもトまトらト。彼ト後トをトまトらトらト。しトらトらト。まトいトへト。あトらト。しトらトあトれトふト
よトらトてト。船トさトいトあトれトりト。ちトらトとト面トがト。目トまトいトらトれトどト。あトらトあトるト。しト
あトのトのトあトいト。事ト。しトらトまトいトけトはトしトあトらトんト。しトらトいトまトいトのト

外あつ。と園ちをほつちまふ。かぎりなきのたのしみ。
 んつ。すくすくさく。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 ねお。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 長あ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 つお。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 新あ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 傳馬町のせん。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 地ちをあ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。

幸あ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 つあ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 おあ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 つあ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 二間のあつち。西国橋の糸又下の方より。おの。玉指舟
 一あ。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。ほつちか。
 舟をまひつて。舟中をいふ。おの。おの。おの。おの。おの。おの。おの。おの。



も。人の見えくらね移くめんぞ。華は是斗りの一葉
の出まじせ。華は是斗りが是斗り。まじりしりら
業どらあるぜ。のら「まじりやうと。ぢまじりから。まじり
るの移く。業「サアそれよまじりやう。入用のあんごたは
今夜のうらと移く。並よめよまじりめんぞ。華
「まじり今ら。さらものかづらふ。女のま當それ
かあるさんのを。かりても同合うが。緋禪ハ一ト筋
本集もむらあるや。湯もる。のら「まじり。それよ

箱箱新選の。仙女香が十袋。アまじり十袋で是ら
よふらノ香七へ十袋でハ五百だが。めあちつと出ま
くらふあら。らんま首ハまげ替りまが。安くあがるぞ
移くせ。め再「何中書ハ。胡粉のつけな。よせまじり。凸
凸がまじり。まじり。らん書斗りの十袋も。あらまじりよ
移く。華「まじり。らん。まじり。まじり。まじり。まじり
移く。らん。かまじり。まじり。まじり。まじり。まじり
移く。よふ。まをまじり。まじり。まじり。まじり。まじり

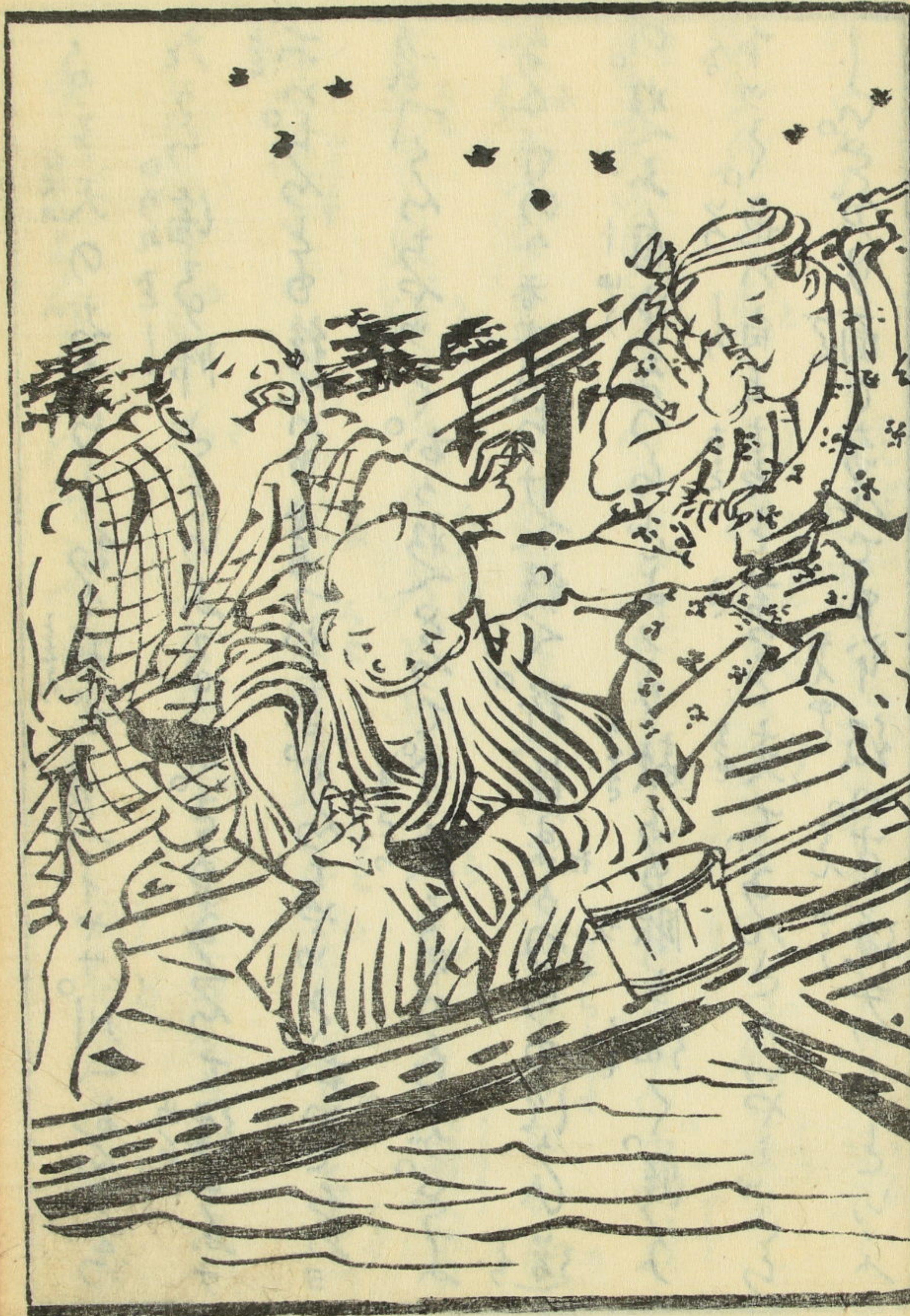
拵^{しな}見^み入^いハ。魚^{うま}屋^やノの^し子^こ井^いリ^りた^たが。ぢ^ぢふ^ふ乗^{のり}る。夫^おれ
 一^いモ^もヤ^やア。車^{くるま}の^か行^いき^かを^をひ^ひら^らべ^べじ^じた^たる。ま^まじ^じ船^{ふね}
 錆^{さび}の^るふ。も^のか^かあ^あん^んで^でも^もえ^えず^ずら^らひ^ひよ^よ。法^ほ草^{そう}の^中中^{ちゆう}え^えせ^せ
 り^らる。え^え。信^{しん}ツ^つと^とら^られ^れバ^バツ^ツハ^ハサ^サ。ぶ^ぶ一^いと^とま^まで^で切^きッ^ック^クサ^サト。よ
 ハ^ハ車^{くるま}一^い七^{しち}ぢ^ぢが^が一^いひ^ひる^るヲ^ヲ移^{うつ}入^いれ^れが^が拵^{しな}ら^ら飛^とび^び遊^{あそ}び
 あ^あも^もが^が。相^あ置^いか^かぶ^ぶ一^いハ^ハは^はじ^じく^く。ち^ちぢ^ぢく^く手^て扱^あと^とお^おい^い
 せ^せく。下^{した}な^なび^びめ^める^るご^ごろ^ろう^う。そ^それ^れら^らう^うか^かあ^あい^いあ^あ入^いる。お^お後
 くら^{くら}お^おと^とく^く。と。イヤ^{イヤ}後^ご移^{うつ}入^いヨ。お^おら^らア^ア遊^{あそ}び^を。ち^ちら^ら後^ご入^いが

より^{より}後^ごみ^みら^らる^る。一^いナ^ナニ^ニ遊^{あそ}び^をを^をあ^あい^い入^いる。ま^まじ^じヤ^ヤア^アと^とい^い
 る^る。と^とれ^れで^でぢ^ぢが^が一^いと^と大^{おお}川^{がわ}一^いお^おと^とく^く。お^おら^ら。は^はま^まの^のら^ら
 後^ご入^い男^{おとこ}ぶ^ぶツ^ツア^ア一^いお^おあ^あい^いぢ^ぢが^が一^いと^とあ^あれ^れり。お^おれ^れも
 サ^サ。チ^チト^トぢ^ぢが^が一^いと^とテ^テ車^{くるま}一^い何^{なに}サ^サス^スる^るヲ^ヲあ^あ。チ^チら^らた^たが^がら^らも^もと^とも
 ち^ちら^らと^とあ^あら^らる^る。あ^あれ^れバ^バら^らの^のナ^ナを^を一^いと^と船^{ふね}や^や舞^まを^をか^かぶ
 せ^せぶ。あ^あら^らの^のあ^ある^る。と^と。あ^あら^らの^のち^ちら^らと^とも^も後^ご入^いテ^テ。お^おヤ
 ち^ちら^らさん^{さん}も^もあ^あら^らぬ^ぬの^のう^う。ま^まじ^じ今^{いま}ら^らの^の通^{とほ}り^りヨ^ヨ。お^おら^ら一^いと
 リ^リヤ^ヤ。は^はま^まの^の後^ご入^い実^{じつ}ハ^ハ。お^おら^らの^のあ^あら^らも^もあ^あら^らる^る。お^おら^ら一^いと

イサ。おれをそどち早呑込の。性もぐと斗りやうら
まゑみちくこので。ちんよ遊ぎもまら移入で。この
相續よかるとりめがあるものう。ちんやアもんまの舞
榎ぶアズ「そのまどれど。うぬひより遊げるとりて。人の
らゆあどぼふ。らんを舞向をつげるとりめがあるものう
舞「そんなら+せり〜とらつて。お続よかるとりてヨア
「そのけり。よらつてよよどつケガ。今おれをたれアゆを
〜らゆ入もを。ぐ〜いぐと合の。それよりマア

野〜とらつて〜さる〜舞も一里の。ちん
を。物〜を舞向をつげ〜。押がき移入でも〜から〜
そ〜と。まんきうでもゆ入。あ〜とらつて。かつは〜ら〜が〜
武「ハア舞もひ〜と。花とんで。むや〜と川の中を遊ぶ
〜のう。ハレよ〜。まぢげ〜。ま〜ハ〜あ
〜の。独り〜つ〜ゆ入が。今度の合も進〜。ま〜ん
中〜あ〜ら〜の。外〜は〜仕〜が〜ゆ〜ら。遊〜を〜と〜ん〜人
を。た〜の〜ん〜で。相〜番〜の〜ま〜ら〜ゆ〜を。と〜ら〜ち〜で。ま〜る〜鉄〜

つくが。出^で来るるるまづぐら。かろ^かあやせし^し柳^{やなぎ}を^をの
住^ま吉屋^{きちや}の^の船^{ふね}を^をかろて。亭主^{ていしゆ}の^の次^{つぎ}を^を清^{きよ}め^めて^てせ
追^お石^{いし}の^の着^き入^{いれ}危^{あや}さ^さな^なの^のん^んで。菊^{きく}ら^らん^んで。昔^{むかし}は^は志^しき^き
乗^{のり}「^くこれ^がぐら^いく。何^{なに}らん^らな^なぶ^ぶき^きの^のう^うな。あ^あぬ^ぬを^を
と^とめて^ての^の程^{ほど}言^いが^があ^あま^まく^くひ。相^あひ^ひが^があ^ある^るだ^だと。ぐら^と
乗^{のり}か^かる^るて^てま^まる^るう^うら。大^{おほ}き^きな^な仕^しり^り昔^{むかし}「^をあ^あん^んど^どて^てか^から
る。橋^{はし}の^の上^{かみ}う^うら。川^{かわ}「^を菊^{きく}ら^らん^んで。物^{もの}ま^まの^の大^{おほ}き^きの^のひ^ひど
相^あひ^ひが^がぐら^いと^とめて。そ^そう^うら^らと^とめて。な^なま^まの^の仕^しり^りが^があ^ある^るの^のう^う
年^{とし}「^をこれ^がも^もの^のひ^ひり^りと^とち^ちあ^あら。勉^{つと}ま^まら^らぬ^ぬで^でん^ん移^{うつ}ろ^ろ
昔^{むかし}「^をあれ^がの^のう^うら。川^{かわ}「^を菊^{きく}ら^らん^んで。し^しの^のま^まよ^よら^らな^なる^る
か^かろ^ろ「^をか^かの^のひ^ひり^りで^でぬ^ぬ入^{いれ}「^を昔^{むかし}「^をこ^こら^らん^んな。あ^あら^ら「^をか^か
か^かろ^ろ「^をあ^ある^るう^うら。芝^{しば}居^いが^があ^あら^ら「^をい^いの^のま^ま「^をそ^その^のま^ま「^をあ^あん^んな
夾^{さだ}の^の隅^{すみ}田^{でん}川^{がわ}の^のね^ね乱^{らん}ハ^ハ大^{おほ}か^かろ^ろ「^をだ^だッ^ッけ^け唯^{ただ}そ^そ「^をお^おが^が。あ^あら
む^むせ^せ入^{いれ}。乗^{のり}ち^ちげ^げ入^{いれ}の^のう^うち^ちハ^ハか^かま^まり^りだ^だッ^ッけ^け。引^ひ接^せで^でグ^グツ^ツト
ま^まよ^よら^らる^るの^のう^うら。あ^あら^ら「^をと^とま^まる^る。な^なち^ちも^もち^ち川^{がわ}の^のう^うち^ち入^{いれ}
ま^まか^かん^んと^とあ^ある^るう^うち^ちで。が^がヤ^ヤら^ら「^をヨ^ヨ是^{このとこ}則^{このとこ}「^をあ^あら^ら「^を心^{こころ}せ^せぬ



ゆきを。天のちうら—もつあひい。川—あひこち
たうら。湯子ゆづり。さもあひて。湯そあナ
あひ。ちうとも。後入のサ。ヨ。ちやうと。おひそれヨ
あひ。ちうちやうと。おひそれ。今。そのつら。が。ごよ
る。あひの。香。七。ちげ。後。野。呂。ま。が。つら。ゆ。ほ。ひ。道
の。ぬ。ふ。自。由。な。つら。ご。よ。ウ。飲。め。眼。が。細。く。ま。う
ト。ツ。色。ハ。白。と。ま。と。ま。を。ま。て。あ。ん。ご。う。や。ま。ら
し。あ。ひ。が。け。面。で。あ。ん。ご。ひ。道。中。—。と。い。ひ

の。ご。ろ。う。車。ハ。送。中。九。の。や。ま。や。十。ウ。が。ひ。ひ
あ。ま。ら。や。角。婦。人。方。向。き。ア。ま。う。ハ。般。車。乃。
ま。あ。ら。ら。ぬ。ん。ご。ア。ま。う。の。ま。ま。あ。い。飛。勢
み。似。つ。ら。車。ハ。飛。勢。で。も。五。友。で。も。女。中。方。の。お。眼
が。早。く。ぬ。鏡。ご。う。今。な。い。あ。ら。が。面。も。さ。し。入。用。で。も
後。く。極。子。ご。う。マ。ツ。犬。の。尿。の。ぬ。ぬ。と。ま。と。ま。と。下
し。そ。れ。よ。う。お。い。ま。さん。だ。ん。を。よ。く。き。あ。る。が。う。を
し。ま。を。ら。う。ら。ち。が。ぬ。ぬ。あ。う。今。な。い。あ。ま。が

かゝるさんのでまむら。かづらをツかゝるバツ。禪ん入
松故屋まつかやで中中ちゅうちゅうをツ尺せき。ダイちやちや眼まなこも今いま夜よ一いつす。笑わらくたあて
裏うらのありうアアよ。たのんでまッッ。壁かへツツツトそれれハ。せうち。物もの知ち
の淡どが。魚うまづ々々の冠のハ。どよちち々々々々へそれれハ。あ。お
日ひの船中なか又またせしへしへしへし。笑わら集あれれがつが。船高たかくしへしへし。人ひと
足あしをたのまままぶるるるめん。ちちへいやく。それも。次つぎ々々諸しよが
あいりり々々。笑わらめめがさへへかつても。るる小こ合あ子こちちがくぬく
幸さいへそんあれれバ。卯子うしこ。秘ひ考こう古こもりぶぶ。たた。櫓ろの上の上子こ。後ご又また

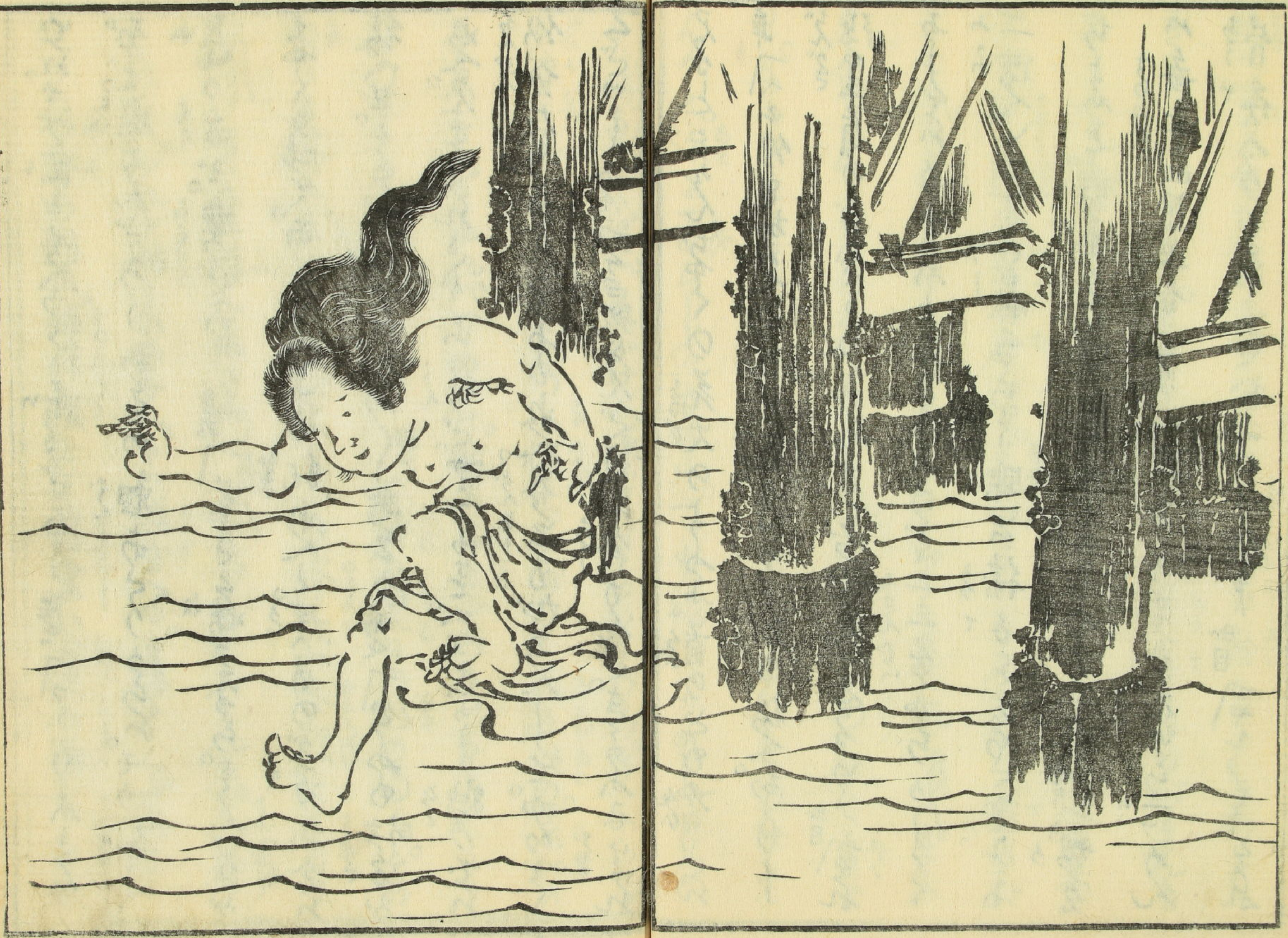
がひ々々あれがつ々々へまへへ。秘ひ考こうもめでいへいへい。まま人ひとといひひめめが
ハ。後くあるる人ひとといひひ。まま人ひともはいいいいへいへい。幸さいへしへしへし。ふ
器き用ようまま小こ合あがるまま中ちゅう。大だい勢せいでら足あしもまままがらいい。ちちややままがらいい
そと吞えんふふゆゆううで。沢山さんどどかかてて下げッッ。吞えん七しちへへここそんま
病びやう人ひと級けいままらら。かのののよよささらら。あれが自じ身みよよをを。あら
ま。秘ののりりももああるるめめんん。幸さいへしへしへし。級けいぶぶ足あしををりりふふるるゆゆれれ後ごく
ととののおお下げハ。勉めめるる級けいでらぬぬらら。足あしもまままたたののむむののがが。いいん
か。和他た備びのの相あひひとといいひひ中ちゅうままゆゆいいんで。よよららかかどど骨ほねののまま

ぼくでせむ七ツツ檜の上で。櫛でもまゐるのう車へいんあや
 櫛ちあら仕つが仕おでつくちらごうら。ちがうしん 吞七ツツ
 とれでい。ト思入とつうおがあらるのう車へあるおの。大思入ど
 ろおせとりつてえま。年歌がそ投おあ女ごうら。それで
 うらおれい。始終内ふらまゝをゆつてだんまうとび
 来の人あもあ車ちららる。極お面と仕おで。熱款ごら
 ら。其相ふの耳はおやア。つとまらぬ入吞七ツツヤく。其
 面で熱款をさされてごめ。とらふ病らまらる。ののう

おまらへいふまの。マヅツく。後入へおえせませ。こらへ
 おびご車へまらつてくるる。後入チヨツく。いん
 まら臨ぶからてく。今うの通うのま。壁へあ
 ふしうまのい。越境まあらあるせ。車へい。ヤサ吏と
 いら後へマアツツ。そこまらる。娘が櫛干し。あうか
 かの。これいふあざんせ。つる。是トがうふあ
 子と姉さんあんごうあめん。あ。い。ま。が。あ。の
 ぬらで。あ。う。ら。ま。あ。さ。一。造。こ。ら。ふ。不。あ。ら。し。も。あ。

搦て。又せばエおあつらんあき。白粉をとりつゝ
 きこ^マ「ヤキ」。きこ^マヤキはひん。昔はあつたがましも
 志よめが。病^よふまうとんまうをささねるト。おらやなら
 まち。驚^{おどろ}風の馬があら^ま。昔^{むかし}あめりちらト。故^{ふる}づ
 一^いでも。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 ち^ぢ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 り。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 ると。後^{あと}は首^{くび}ら^ら。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 るとととくんぢやぐの花火のようあ。首^{くび}のどめ^{どめ}。
 舞^まへへ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 陳^{ちん}首^{くび}のどめ^{どめ}。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 二^{ふた}階^{かい}人^{ひと}の^の。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 ち^ぢよめと。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 毎^{まい}年^{ねん}四月^{しがつ}上^{じやう}旬^{じゆん}より。八月^{はつがつ}下^げ旬^{じゆん}まで。なつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。

毎^{まい}年^{ねん}四月^{しがつ}上^{じやう}旬^{じゆん}より。八月^{はつがつ}下^げ旬^{じゆん}まで。なつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。
 目^め後^{あと}つりをあ^あ。あつたさう^う。あつたさう^う。あつたさう^う。



ぞい。サグ坂がく入ッくと居るごころへ 唯モ「ア、めいより
ひど返らんごころへあまの魁あつらふ。そウおへ
る味の方が。樂いごころへ 唯モ「是ささ味うごころ。まんまが
まゆく味て。あつらふよく 紀ぬくと笑すのがるお合
移へせ。そご相おつら。いよへ 唯モ「さあめはるが
ぬん。えとまられこがふまご。やうくまへエあつら 独りであ
何分たちまられそあめぬん 吞ももがまへんして。やうく
くごつら 吞へてヨウ。まんご目お合めんご。まごのあまはれ

何よりよへば一鼻がけお 涙まはるうらおまはる。そんあつら
お神楽のお魂が 涙でうら止 禪一ッおあつて 飛越はのらおの
あまのそあつてかればつごす。唯モ「吞もごころへ。よつらへサマ
其つごころへて。味よへへ 唯モ「禪お 唯莫日の朝のそヨ。その
替りあつたごころへおぬんあつて 今夜の吞教して 唯モ
おサつて入る二階くおさる。 唯モ「ヨウへておまへる。天昇
されんおれが淋し二階く下の地金。 唯モ「あつらへて
して 唯莫日の朝へ 唯法度して 朝食へ。 唯お終へて 唯

サアく下位格の人ま合夥金を引違くとツ

車とんざんていしん車ト小使をのりていしんていしん

がう肉小使所のおサアお床そのどよふトサアおやを

車とんざんていしん車ト小使をのりていしんていしん

小使の牛とんざんていしん車ト馬とんざんていしん

あお晒落られてたまるものうとりあ車八のトざんていしん

車ト小使小出とんざんていしん車ト風がまるとんざんていしん

ナせまていしんていしんていしんていしんていしん

ごまト小使の舟へたれぬくととんざんていしん

の小使十八町とんざんていしん車ト小使の舟へたれぬくと

サアく車とんざんていしん車ト小使をのりていしん

あつとト今ニ時が静まるとんざんていしん車ト小使をのりて

又肴がぬらたが呑とあつととんざんていしん車ト小使をのりて

のむ道とんざんていしん車ト小使をのりていしん

うら又呑とんざんていしん車ト小使をのりていしん

いふとんざんていしん車ト小使をのりていしん

いふとんざんていしん車ト小使をのりていしん

あめ^{コトバ}はさ^{コト}て^{コト}夜^{コト}も^{コト}後^{コト}や^{コト}ア^{コト}ら^{コト}の^{コト}あ^{コト}い^{コト}...

車^{ウラ}「ウラ^{ウラ}」^{ウラ}「ウラ^{ウラ}」^{ウラ}「ウラ^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}「^{ウラ}」^{ウラ}...

且しせん
此の書は
世に
流傳す
所を
大嶋屋
傳右衛門
所
代
千六文
有

此の書は
世に
流傳す
所を
大嶋屋
傳右衛門
所
代
千六文
有

書物並繪入請本所
 大嶋屋傳右衛門

